



A 札幌デザイナー学院 おいかわ みさと
及川 美聡さん

制作者による作品コンセプト

中央をローマ字にして、大文字を運転手さん、小文字をお客さんとして輪で囲むことで市電をイメージしました。

委員からの講評

唯一イラストの視点で作られ、まとまり感のある作品。キャラクター化された文字がかわいらしく、運転手さんが楽しそう。



B 札幌デザイナー学院 たかはし ゆき
高橋 友希さん

制作者による作品コンセプト

「Chuo」という文字自体を市電に見立てて作成しました。

委員からの講評

他の作品にはあまりない立体感があって面白い作品。市電が「Chuo」という文字に楽しげにデザイン化されていて、市電に乗りたくなるような感じが伝わる。



C 札幌デザイナー学院 すぎもと みずき
杉本 瑞季さん

制作者による作品コンセプト

つり革をイメージして作成しました。

委員からの講評

つり革だけで表現したデザイン性の高い、完成された作品。シンプルにデザイン化されている。つり革を文字（スペル）で上手に表しており、グリーンの配色がアクセントになっている。



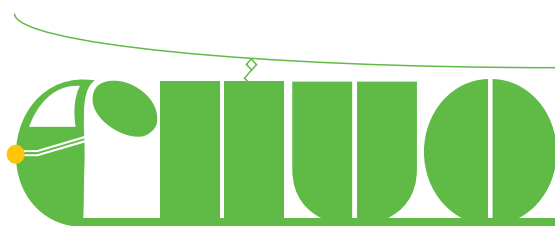
D 札幌デザイナー学院 おざわ ゆいか
小澤 唯香さん

制作者による作品コンセプト

緑を大切に、その中を走る市電、という未来をイメージして作りしました。

委員からの講評

立体的な見方だが、漢字が札幌の市街地や道内外まで広がりを感じさせ、広々とした印象を与える。街の整然とした区画の感じも伝わってくる。端的に電車と中央区を表現した作品。



E 北海道造形デザイン専門学校 たまい つよし
玉井 剛史さん

制作者による作品コンセプト

緑多い中央区のイメージで車体を緑に、電線をつけることで動きのあるロゴに。親しみが持てるよう全体的に丸みをつけました。

委員からの講評

モダンな電車を形作った作品でアイデアが素晴らしい。未来の電車をイメージしたかのような緊張感のある作品。パンタグラフの細さと文字の太い線のコントラストが美しい。